

本県教育を取り巻く社会経済状況（主なもの）

- 人口減少の加速化 ○気候変動と自然災害
- グローバル化の進展と国際環境の複雑化
- VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）
- 共生社会・社会的包摂 ○Society5.0の到来

第6次山形県教育振興計画期間の現状（主なもの）

- 探究型学習の拡大・浸透 ○併設型中高一貫教育校の設立
- 自分には良いところがあると思う児童生徒の割合は高い
- 運動時間数の減少 ○不登校児童生徒の増加
- 教員志願倍率の低下 ○授業でのICT利用頻度が低い

今後を見据えた課題（主なもの）

- 予測困難な時代を生き抜くための変化に対応できる力の育成
- 多様な個人を尊重し、包摂社会に寄与する態度・姿勢の育成
- DXや少子化、地域との連携等、様々な変化に対応した学びの環境整備

【検討委員会での主な意見（要旨）】

● 計画全体への意見

- ・教育全てをウェルビーイングの観点で捉えることが必要
- ・個々の多様性を認めながら、前向きな挑戦を目指す教育的アプローチが重要
- ・持続可能な社会の実現には、価値基準や評価軸の多様化が必要
- ・学校、家庭、地域・社会が時代の変化に対応し役割分担し連携する必要
- ・学校の外に対し、積極的に学校に関わる必要性を発信していくことが重要
- ・計画の実効性を上げるため、地域、家庭等色々な人を巻き込み皆で教育を変えていくことが重要
- ・ミッションやビジョンは教育の現場や生徒、地域が理解しやすくシンプルな言葉が重要
- ・計画を実行するうえで明日からどう行動したらいいか、それぞれの主体がイメージできるよう具体策を示すことが必要

● 変化に対応できる力の育成に係る意見

- ・子どもたちの判断力や実行力を育てることが重要
- ・興味を持てば主体性は生まれる。体験等、内発的動機付けや好奇心が重要
- ・自由な発想を促進する教育が重要。AIが発達する中、今後人間は創意工夫する能力が求められる
- ・学校の中だけでなく、外に出て社会とつながる学びが重要
- ・失敗を恐れず果敢にチャレンジする学びが重要
- ・身体を整え、心を安定させることが重要
- ・自らの意思を持つこと、他者との協調、他者への配慮・尊重の両方が重要
- ・地域の課題や、魅力の気づきにつながることから、地域を知ることは重要

● 多様な個人を尊重し、包摂社会に寄与する態度・姿勢の育成に係る意見

- ・多様性の尊重やインクルーシブ教育に向け着実に取り組んでいくことが重要
- ・企業は、従業員一人ひとりが持つ特性や得意分野を把握し活躍できる環境をつくる必要がある
- ・人生100年時代、学び続けることを前提とした人生設計が必要
- ・社会で多様な人と一緒に学び、得たものを社会に還元することが重要
- ・小中高生や大人等異なる年齢層による幅広い交流は、幸福度を高める。中学校部活動も、同世代とだけの関わりではなく幅広い交流が大切

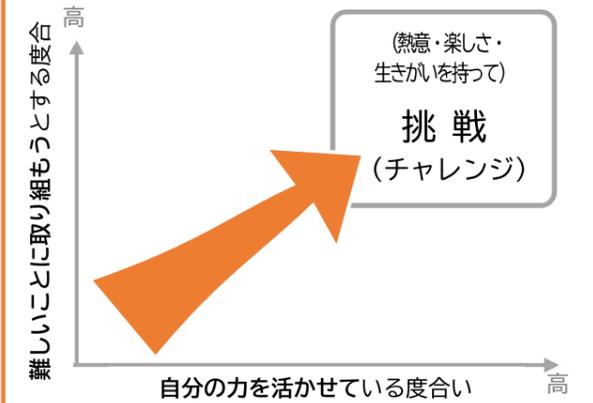
● 様々な変化に対応した学びの環境整備に係る意見

- ・教育においてもDXはこれからの基盤であり推進すべきもの
- ・動画をはじめ多様な教材を自由に選択できる時代であり、学校以外で学べる場を増やす必要がある
- ・教育の質を向上させるために、学習過程や態度を含めた教育データの解析を行う必要がある
- ・教員のデジタル活用に関する資質向上が必要
- ・子ども一人一人に向き合う時間の創出のためには、教職員の働き方改革は大きな課題
- ・学校と地域の人材のマッチングや、教員の異動にかかわらず地域とのつながりを維持する仕組みが必要

＜ウェルビーイングを目指すためには＞

- ・個人の幸せだけでなく、社会が幸せを感じられるよう、県民皆が自分の力を活かしながら、前向きに取り組んでいることが重要

→「挑戦」していることが重要



【想定される取組みの例】

1 自ら考え、主体的に行動する力の育成

- ・確かな学力の育成 ・探究学習の拡大
- ・少人数学級編成の展開 ・異学年共同学習の展開
- ・キャリア教育の充実 等

2 新たな価値を創造する力の育成

- ・イノベーションを担う人材育成 ・STEAM教育の充実
- ・アントレプレナーシップ教育（起業家教育）の展開
- ・外国語教育の充実 ・海外体験学習の実施
- ・ICTを活用した海外との交流 等

3 互いを尊重し前向きに生きる心と体の育成

- ・体験学習の充実 ・感性や郷土愛の育成 ・幼児教育の推進
- ・食育の推進 ・体力、運動能力の向上 ・規範意識の醸成 等

4 それぞれの個性を活かし尊重した学びの実現

- ・通級指導や特別支援学級の充実 ・医療的ケア児の支援
- ・就労支援の充実 ・不登校児童生徒への対応
- ・家庭の事情等により学業に影響が生じている子どもへの対応 等

5 生涯にわたる学びやスポーツ・芸術文化活動の推進

- ・生涯学習の推進 ・社会教育の推進
- ・部活動の地域移行の推進 ・総合型地域スポーツクラブの充実
- ・文化芸術の鑑賞機会の充実 等

6 教育DXの実現

- ・遠隔授業の拡大 ・教育データの分析・活用
- ・教員のICT活用能力の向上 ・児童生徒のICT活用力の育成
- ・ICT設備の充実 等

7 活力あふれる学校の実現

- ・教職員の働き方改革 ・質の高い教員の確保・育成
- ・高校再編 ・学校施設の整備 ・学校安全の推進 等

8 家庭や地域と一体となった子どもの学びの支援

- ・コミュニティスクールの推進 ・家庭教育の充実
- ・県立高校と地域が協働した取組みの推進
- ・NPO・企業・地域団体等との連携・協働 等